

【 観点別評価を考慮した定期考査の問題作成例 】

観点（関心・意欲・態度）

- ・ 実習における疑問点や気づきを箇条書きで記述させる

<問題例>

「実習では1社の企業の財務諸表をもとに財務分析をおこないましたが、1社の企業の分析だけでは数値の比較が不十分でした。数値比較のためには、どのような方法が考えられますか。箇条書きで示しなさい。」

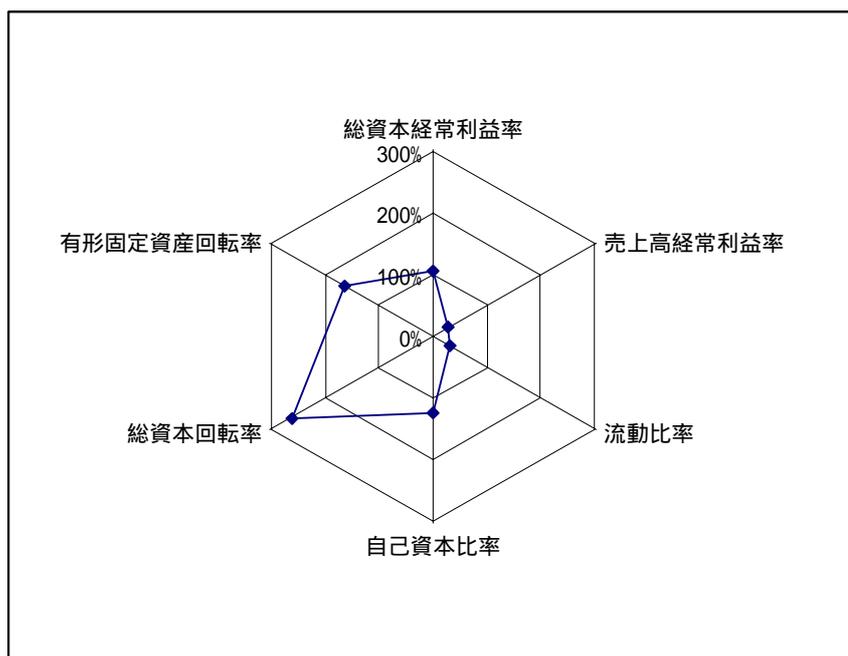
<解答例>

- ・ 計画値や目標値との比較
- ・ 競合他社との比較
- ・ 統計資料との比較

観点（思考・判断）

- ・ 解説を述べさせる
- ・ 問題点を列挙させる
- ・ 関係を述べさせる

<問題例>



このレーダーチャートによると、収益性をあらかず売上高経常利益率と、安全性をあらかず流動比率が標準よりかなり低いことがわかる。

売上高経常利益率と流動比率が低い場合の改善策として、以下の文の（ ）の中を完成させなさい。

売上高経常利益率は、経常利益÷売上高であるから、
()
流動比率は、流動資産÷流動負債であるから、
()

<解答例>

売上高経常利益率は、経常利益÷売上高であるから、
(利益率の高い商品を重点的に販売し、経常利益を増やすようにする。)
流動比率は、流動資産÷流動負債であるから、
(買掛金を支払うか、短期借入金を返済して流動負債を減らすようにする。)

観点(技能・表現)

・調べるためのツールとその理由を述べさせる

<問題例>

分析結果を数値の比較で判断することもできるが、グラフにあらわして比較する方法がある。グラフ表現のひとつであるレーダーチャートを用いるのは、どのような理由からか？

<解答例>

複数の項目を同時に比較することにより、全体のバランスを分析することができるから。

観点（知識・理解）

- ・ 計算式を答えさせる

<問題例>

つぎの表計算ソフトウェア上に作成された貸借対照表と損益計算書の数値をもとに、以下の比率の計算式について、セルを用いて答えなさい。

	A	B	C	D
1	貸借対照表			(単位：千円)
2	資 産	金 額	負債および資本	金 額
3	流動資産	42,717	流動負債	85,183
4	現金および預金	25,659	買掛金	30,828
5	受取手形	6,812	支払手形	7,562
6	売掛金	495	短期借入金	23,400
7	棚卸資産	5,085	その他	23,393
8	その他	4,666	固定負債	56,156
9	固定資産	213,223	長期借入金	44,379
10	有形固定資産	178,917	その他	11,777
11	投資その他の資産	34,306	資 本	114,601
12	資産合計	255,940	負債および資本合計	255,940
13				
14	損益計算書			(単位：千円)
15	費 用	金 額	収 益	金 額
16	売上原価	1,338,651	売上高	1,747,118
17	売上総利益	408,467		
18		1,747,118		1,747,118
19	販売費および管理費	405,636	売上総利益	408,467
20	営業利益	2,831		
21		408,467		408,467
22	営業外費用	1,974	営業利益	2,831
23	経常利益	16,211	営業外収益	15,354
24		18,185		18,185
25	法人税および住民税	7,612	経常利益	16,211
26	当期純利益	8,599		
27		16,211		16,211

- ア．総資本経常利益率（％）
- イ．売上高経常利益率（％）
- ウ．流動比率（％）
- エ．自己資本比率（％）
- オ．総資本回転率（回）
- カ．有形固定資産回転率（回）

< 解答例 >

- ア．総資本経常利益率（％） $=B23/D12*100$
- イ．売上高経常利益率（％） $=B23/D16*100$
- ウ．流動比率（％） $=B3/D3*100$
- エ．自己資本比率（％） $=D11/D12*100$
- オ．総資本回転率（回） $=D16/D12$
- カ．有形固定資産回転率（回） $=D16/B10$